



平成30年4月16日

各 位

会社名 株式会社ライフフーズ
代表者 代表取締役社長 大平 毅
(コード番号: 3065)
問合せ先 管理本部・広報室長 森 雅彦
(TEL. 06-6338-8331)

特別損失の計上及び平成30年2月期の通期業績予想と実績値
との差異に関するお知らせ

当社は、平成30年2月期（平成29年3月1日～平成30年2月28日）において下記のとおり、特別損失（減損損失）の計上を行うとともに、平成29年4月17日の決算発表時に公表いたしました平成30年2月期（平成29年3月1日～平成30年2月28日）の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の発生及びその内容

(1) 減損損失の内容

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社が保有する固定資産のうち5店舗について収益性の低下等による減損の兆候が認められたため、特別損失として減損損失75百万円を計上することいたしました。

(2) 今後の見通し

上記減損損失の業績に与える影響につきましては、本日発表いたしました「平成30年2月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」に反映しております。

2 平成30年2月期通期業績予想と実績値との差異（平成29年3月1日～平成30年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	13,365	365	425	180	58 96
実績値 (B)	12,901	200	252	88	28 99
増減額 (B-A)	464	165	172	91	—
増減率 (%)	△3.5	△45.2	△40.6	△50.8	—
(ご参考)前期実績 (平成29年2月期)	12,959	394	451	204	66 97

(注) 平成29年9月1日付で、普通株式5株を1株に株式併合を行ったため、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

3 差異の発生理由

平成30年2月期の業績は、原材料価格及び慢性的な人材不足による採用費、人件費の高騰により、売上高12,901百万円、営業利益200百万円、経常利益252百万円となりました。また、減損損失75百万円等の特別損失を78百万円計上したことから当期純利益は88百万円となり予想数値を下回る結果となりました。

以上